

前進するか、6次産業化

6次産業化推進拠点施設について説明を受けた。

町当局の説明

【経過】

○6次産業化推進戦略に基づき、推進拠点の整備に向け、検討委員会や農業者、関係機関との意見交換を行い、検討を進めてきた。

【整備内容(案)】

- 施設概要
 - ・規模 120坪程度
 - ・場所 「食と農村交流施設」周辺
- 拠点機能
 - ・食品検査機器などを共同で利用できる部分と、個別利用部分を整備。
 - ・商品開発や販路拡大等のアドバイスができる人材を配置。
- 管理
 - ・指定管理者制度を活用し、民間が運営。

質疑

求められる人材は

委員 どのような能力のある方を配置したいのか。

当局 経営や機械設備などすべて包含できる方がありがたいが、特に食品管理に詳しい方を考えている。

委員 販路拡大の人材も必要では。

当局 販路拡大に詳しい地域づくり協力隊がいればお願いしたいし、商工会のご協力もお願いしたい。

待ちに待った施設

委員 6次産業化を目指す人には待ちに待った施設。施設を貸す期間はどうか。

当局 機器などの使用は時間制限とし、

貸し工房は年間単位としたい。

既存生産者の利用は

委員 現在6次産業に取り組んでいる方との整合性は。その方も利用できるのか。

当局 そのような方々からも要望を伺って整備したい。活用してほしい。

町長 いろいろな意見をいただきながら、産業として育てられるよう進めたい。



町当局の説明

【これまで】

パレス松風については、温泉施設を主とした保養センター機能の整備後、宿泊・宴会施設を主とした魅力化機能の整備を行うこととしていた。

【現状】

令和2年度決算や第1四半期の状況を踏まえると、再整備より、白鷹町アルカディア財団自体をどうするかを優先させる必要がある。

【これからの方向性】

※サウンディング型市場調査を実施し、専門的スキルのある民間事業者への指定管理の変更や再整備、収益が見込め経営が可能かを調査する。
再整備は並行して進める。

民間事業者との意見交換実施へ

ふるさと森林公園再整備の状況について説明を受けた。



取ってはどうか。

当局 お客様からアンケートをいただいております。町民全体へはどうかと思う。

委員 町民への調査も重要だと思うが、

町長 ご意見をいろいろ伺わせていただきながら、方向性を探らせていただきた。

質疑

並行して進めるのか

委員 サウンディング調査後に再整備の検討を進めるべき。なぜ並行して進めるのか。

当局 パレス松風は34年が経ち、劣化が進んでいる。湯量も安定しないため、温泉掘削はなくてはならないものであり、並行して進めたい。

町民へのアンケートは

委員 どうすれば利用したくなるか、町民からアンケートを

※サウンディング型市場調査
民間事業者との意見交換を通し、事業に対してさまざまなアイデアや意見を把握する調査

その他
○白鷹町森林(もりん)とつながる暮らしビジョンの策定について
○伝統工芸の村について
○白鷹町都市計画用途地域の見直しについてなどについて説明があった。